

上質な白と曲線美

ひときわ目を引くアーチ状の柱が特徴です。古典建築の柱頭のデザインを模し間接照明を配置しています。上質で高級感のあるデザインが百貨店の中のような印象を与え、地下鉄降車時から隣接する百貨店や商業施設にシームレスにつながります。

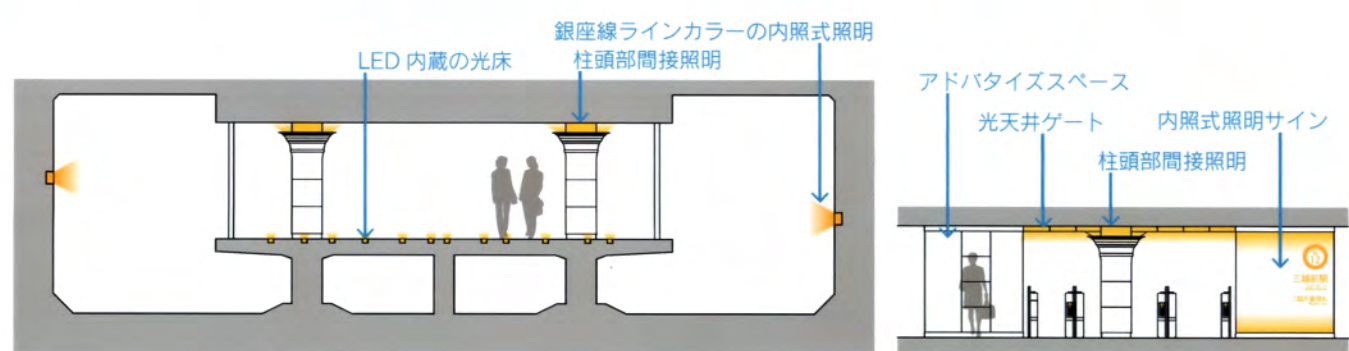
G12 三越前駅 Mitsukoshimae Sta.



利用者の声
東京都内在住
32歳 女性
会社員 独身



忙しい毎日から解放される、たまの休日にお買い物へ。しばらく顔を合わせていない、郷里の母への誕生日のプレゼントを買いにきました。ネット通販で簡単に購入できるけど、やっぱり大切な人へは自分の目で見て選んだものを送りたい。そんなときふと目にとまったのが、銀座線の三越前駅。上品なデザインに優しい光で地下鉄の駅じゃないみたい。周りには老舗のお店もたくさんあるし。そう思いながら、わくわくしながら地下鉄を降りました。高揚した気分で、プレゼント探し。やっぱりお買い物は楽しくなっちゃ。



”東京の真ん中”という幼い頃にいただいた憧れをかたちに。 ”ハレ”の舞台を創出する。

東京メトロ銀座線の商業エリア3駅には、周辺に数多く営業する老舗の店舗や飲食店の”かお”となる空間をつくります。東京都中央区というブランドイメージにマッチした高級感、華やかさ、荘厳さをテーマとしてデザインを展開し、非日常の空間を創出します。古典建築に

見られるオーダー（Order）やレリーフ、アーチといったクラシックなデザインを現代的な解釈で再構築したデザインを提案します。シンプルモダンが好まれる現代において、あえて装飾を施したきらびやかな装いの空間をかたちづくっていきます。

上質な空間をつくり出す光のマチエール

光と照明により奥行き感をつくり、空間に艶を与えます。各駅のプラットフォームの床にはLEDを内蔵した光床を敷設し、階段やベンチに近づくほど光のグラデーションが起こるしくみとなっています。各駅プラットフォームの柱頭に間接照明を配置します。これは列車降車時のアイキャッチとなると共に、独自性のあるデザインが駅ごとの個性を表します。

改札口は上部の光のゲートがポイントです。駅の”顔”として、改札を出るときは周辺商業施設の”かお”としての役割を果たします。また改札脇にアドバタイズスペースを設置し、街のナカが駅のナカへとつながっていきます。



G11 日本橋駅 にほんばしえき Nihombashi Sta. シャンパンゴールドとアーチ

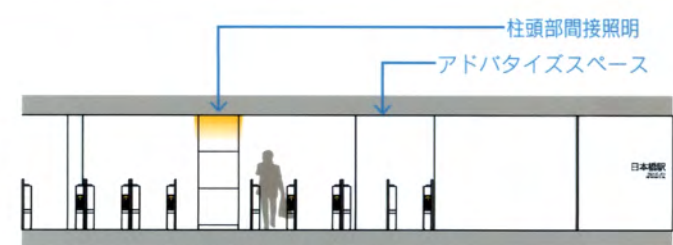
乗り換えの利用者が多く、日本橋駅のためにアドバタイズスペースを点在させています。改札口を出ない利用者が”日本橋の”まち”を感じ、興味を持ってもらうためのキャンペーンスペースです。



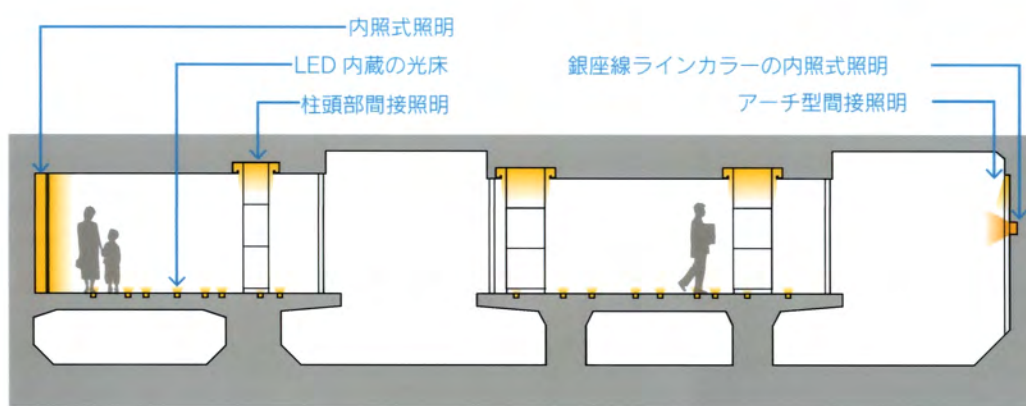
利用者の声
東京都内在住
32歳 女性
会社員 独身



取引先との商談で東西線を利用するために日本橋駅へ。今までも日本橋駅はたまに利用していたけれど、なんだか少し変わったのかな。まわりのお店のショーウィンドウが駅の中に入ってきて、目にとまるたびに違ったディスプレイになっているみたい。今まではそのまま通り過ぎていた日本橋駅だけど、気がつけば足を止めて見入っていました。この駅の周りのお店は全然知らなかったけれどこんなお店があるのだったら、今度の休みに散歩してみようかしら。



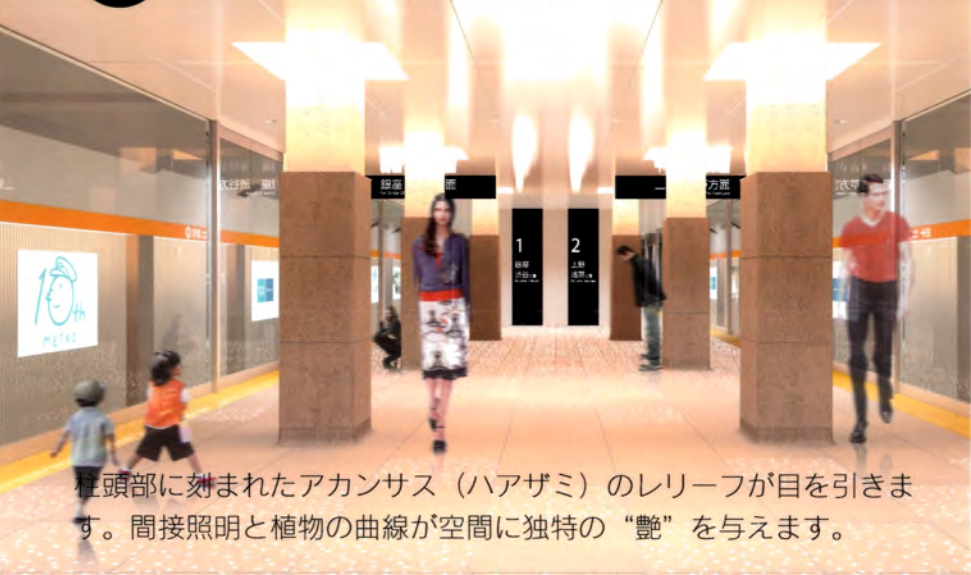
京橋方面へのプラットフォームの壁は乳白色ガラスの内照式光壁とし、”ゆらめき”を表現しました。



シルバーの柱が上部の間接照明により、シャンパンゴールドへとグラデーションします。スッキリとした柱に対し、対向壁は橋のようなクラシックなアーチとしました。モダンな柱とバネキュラーなアーチの対比がデザインの特徴です。

レリーフの回廊

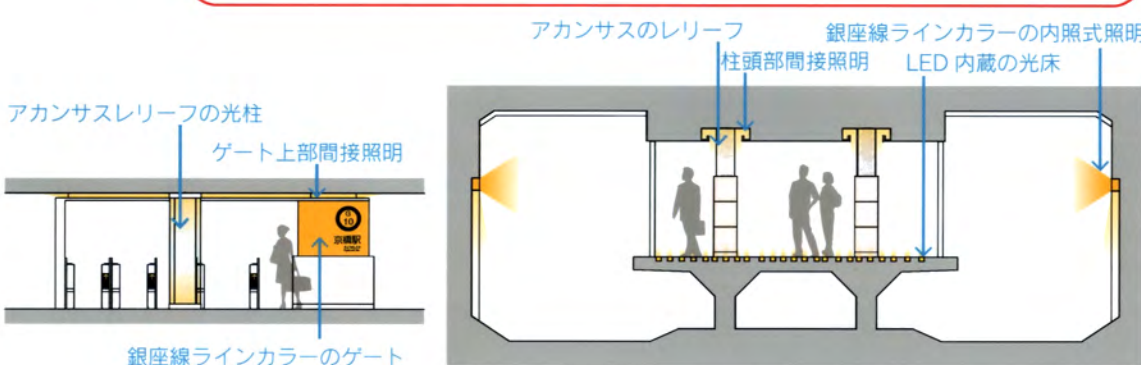
G10 京橋駅 きょうばしえき Kyobashi Sta.



利用者の声
東京都内在住
32歳 女性
会社員 独身



今日は久しぶりにカレとのデート。2週間前にケンカをしてそれっきりだったけど、謝る気になってくれたのかしら。そう思いながら新しくなった京橋駅へ。地下鉄を降りると目にとまったのは、ボタニカル柄の駅の柱。間接照明で照らされていてとってもきれい。オレンジ色の改札口を出て待ち合わせ。こっちは柱は上から下まで全部ボタニカル柄。優しく照らされたレリーフをみていると、なんだかちょっと優しい気持ちになってきました。私の方から謝った方がいいのかなあ。



改札口は銀座線のラインカラーを取り入れたゲートを設けることで、利用者の印象に残るデザインとしています。

